

4月19日

春爛漫の今日この頃です。成長が早くなり我が家では増し土作業に追われています。

増し土とは

成長の途中で、鉢の中の表土を追加することをいい、絶対に忘れてはならない大切な仕事です。もし、これをおろそかにすれば、翌春、開花芽ができるどころか、2番芽、3番芽も取れず、枯死してしまう可能性もあります。

さくらそうは匍匐茎から出た芽が成長するにしたがって、表土上に出る特性をもっているから放っておくと、新芽が表土上に飛び出して緑色となり、いじけて小さく固まってしまう。で、開花芽は取れません。必ず、実行してください。(鈴鹿冬三氏 NHK 趣味の園芸より)

河崎昌夫さんちのさくらそうを紹介します。いろいろな品種が大切に栽培されています。



高価な桜草鉢を使用しています

